

キャリア通信

第5号 令和7年2月26日(水) 発行
茨城大学教育学部附属特別支援学校
キャリア教育推進部

中学部の職業体験と出張販売について紹介します。

附属特別支援学校では、「キャリア」という授業があります。中学部での「キャリア」の学習内容は、「ワークキャリア」と「ライフキャリア」の大きく2つに分かれます。「ワークキャリア」は“働くこと”について学ぶ学習で、農作物、手工芸品などの生産・販売活動や職業・進路に関する学習を行っています。一方、「ライフキャリア」は“より豊かに生きること”について学ぶ学習で、余暇、家庭生活、社会生活の充実を図るために、クラブ活動、委員会活動、様々な方々との交流活動などの体験的学習などを行っています。

今回中学部では、「ワークキャリア」の学習の一環として行った、茨城大学での職業体験と出張販売の様子についてご紹介します。

*茨城大学での職業体験

1回目は、大学院生が企画・準備した2種類の職業(リサイクルセンター、ストア店員)を体験しました。さらに2回目は、リサイクル班が事前に自分たちで考えた窓拭きや掃除などを行いました。



*茨城大学での出張販売

部内で協力して集めたバザー品や、自分たちで制作した手作りコースター、ラベンダーのサシェ等を販売しました。中でも、学校の畑で作ったさつまいもは人気の商品でした。

